

新年特別講演会・懇親会のご案内

国際物流の拡大に対応するためにパナマ運河の拡張が進められています。拡張による国際物流への影響は大変の興味のあるところです。本講演では、日本海事センター研究員の松田琢磨氏を講師に招き、パナマ運河拡張後の国際物流動向について、調査・分析に基づいたくわしい解説をいただきます。講演会の後には懇親会も予定しておりますので、多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

記

- 日時：**特別講演会 平成27年1月15日（木）15:40～17:10
懇親会 平成27年1月15日（木）17:30～19:30
- 会場：**神戸クリスタルタワー3階クリスタルホール
（住所）神戸市中央区東川崎1丁目1-3（JR神戸駅海側すぐ）
（連絡先）080-6135-0996（当日のみ有効）
*特別講演会、懇親会共に本会場にて開催いたします
- 参加費：**講演会 無料、懇親会 一般5,000円、家族・学生2,000円

講演概要

題目：パナマ運河拡張後の国際物流動向について

講師：松田 琢磨 氏（(公財)日本海事センター企画研究部研究員）

パナマ運河は大陸によって遮断された東西の海を直接結ぶ国際物流の重要拠点であり、全世界の海上貿易量のうち約5%が通航する。同運河は渋滞や通航制限といった課題を解消すべく、拡張工事が進んでいる。2016年初頭に予定されている第三閘門の供用で大型船舶が通航可能になるほか、渋滞の解消も期待されている。さらに現在ではLNG輸送の主要経路としての期待も高まっている。その一方、パナマ運河では通航料値上げが近年相次いでおり、利用者の負担が増している。日本海事センターではパナマ運河を巡る状況変化を踏まえ、2013年度より「パナマ運河拡張後の国際物流に関する調査委員会」を立ち上げ、運河拡張後の物流動向について調査している。本講演では同調査委員会での調査結果を踏まえ、現状とパナマ運河拡張後の見通しについて主に述べる。また、今後に向けた課題とともに米国産シェールガス輸送に関する話題、ニカラグア運河の話題についても簡単ながら言及したい。



ガトゥン閘門を通航するコンテナ船
(写真提供：柴崎隆一 (OCDI) 2013.4)



ガトゥン湖側第三閘門建設現場
(写真提供：柴崎隆一 (OCDI) 2013.4)

申込締切：平成27年1月8日（木）

お問い合わせ先

日本船舶海洋工学会関西支部事務局

TEL：06-6879-7593 FAX：06-6879-7594 携帯：080-6135-0996（1/15のみ有効）

E-mail：k.office@jasnaoe.or.jp

以上